



令和4年10月4日

深谷市長 小 島 進 様

第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会
委 員 長 岩崎 行雄

提 言 書

第2次深谷市公共施設適正配置計画(以下「2次計画」という。)を策定するにあたり、再編方針に基づき協議及び検討を行った結果、その内容は妥当なものであると考えます。

適正配置の推進にあたっては、下記の点に留意し、2次計画に掲げた目標達成に向け取り組んでいただきたく提言します。

記

1 計画全般について

(1) 施設の再編により廃止等した跡地活用(建物活用を含む)については、開発等の関係法令や安全性を十分に確認し、地元活用や国も推奨している官民連携など多角的な視点で検討しながら進めること。

(2) 深谷市公共施設等総合管理計画においては、総延床面積の25%を削減目標としているが、第1次深谷市公共施設適正配置計画(以下「1次計画」という。)及び2次計画をあわせて10.7%である。

このことから、長期的には、さらに厳しい選択をしなければならないことを認識し取り組むこと。

なお、将来の人口動向や今後の社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて長期的に検討する施設についても、前倒しなど視野にいれ再編を進めること。

(3) 1次計画で未達成となっている施設の再編については、引き続き2次計画と並行して進めること。

2 個別施設について

(1) 公民館

公民館は、少子高齢化の中で地域コミュニティの核となる中心的な施設として非常に有効となるので、多角的な視点から更に有効に利用できるよう検討すること。

(2) わんぱくランド

わんぱくランドの再編については、管理棟内にシルバー人材センターの事務所があることから、事務所の移転先などについて配慮し進めること。

(3) 小学校・中学校

施設の再編を進める上で、市が保有する施設の約半数を占める学校教育系施設の取り扱いは重要な課題である。小学校・中学校については、国から示されている「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」に基づき、今後のあり方を検討すること。

(4) 市営住宅

施設の老朽化が顕著となっており、地震等の災害の際に倒壊の可能性が十分に考えられることから、市の管理者としての責任にも留意すること。

第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会 委員名簿

氏 名		所属・経歴
委員長	岩崎 行雄	・ 上下水道事業運営審議会 ※人材バンク ※H25 在り方検討市民会議 ※H27 適正配置検討委員
副委員長	清水 佳子	・ 深谷市都市計画審議会 ・ 深谷市環境審議会 ・ 一級建築士 ・ 人材バンク ※H25 在り方検討市民会議 ※H27 適正配置検討委員
委員	荒井 康子	・ 深谷市国民健康保険運営協議会 ・ 認可外保育施設審議会 ※人材バンク ※H25 在り方検討市民会議 ※H27 適正配置検討委員
委員	飯塚 勉	・ 自治会連合会（推薦）
委員	飯塚 富美男	・ 社会教育委員（推薦）
委員	栗原 宏義	・ 深谷市都市計画審議会 ※人材バンク ※H25 在り方検討市民会議 ※H27 適正配置検討委員
委員	小池 良司	※人材バンク ※H27 適正配置検討委員
委員	力石 琢磨	・ 株式会社地域デザインラボさいたま（埼玉りそな銀行地域デザイン室） ※H27 適正配置検討委員
委員	南 絹代	・ 税理士 ※R3 指定管理者選定委員

※は過去の所属等

第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会の協議経過

開催回数	開催日時	会場	議事
第1回	令和4年 5月18日(水) 午後2時00分～	市役所本庁舎 大会議室	○委員委嘱 ○委員長、副委員長の選出 ○会議の公開について ○検討委員会の運営方法について ○深谷市公共施設適正配置計画の経緯等について
第2回	令和4年 7月5日(火) 午後2時00分～	市役所本庁舎 大会議室	○第2次深谷市公共施設適正配置計画の再編方針について ・計画の目的 ・深谷市公共施設等総合管理計画 ・深谷市公共施設適正配置計画(1次計画) ・公共施設再編の必要性 ・2次計画の再編方針
第3回	令和4年 7月19日(火) 午後2時00分～	市役所本庁舎 大会議室	○再編検討施設について ○存続とする施設について ○検討施設について
第4回	令和4年 8月23日(火) 午後2時00分～	市役所本庁舎 大会議室	○第2次深谷市公共施設適正配置計画の協議結果について ○第2次深谷市公共施設適正配置計画の意見のとりまとめについて ○提言書(案)について